

令和6年度 伊予中学校 学校評価

令和6年12月実施

1.◎できている、2○ややできている、3▲ややできていない、4×できていない

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)					肯定率 (1,2の計)
					1	2	3	4		
学習指導と教育課程	年間計画どおりに学習指導が進めている。 目標値・肯定率80%(教①)	A	様々な行事を実施しながらも、授業時数の確保に努めた。来年度に向けて、積み残しがないよう各教科で進捗状況を把握して進めたい。	教職員① A	41	47	12	0	88	
	よく分かる授業に努めている。(よく分かる授業をしている。)	A	「できている」「おおむねできている」と評価している生徒が86%おり、高評価であるものの、保護者の評価は依然としてBである。学校の取組を周知するとともに、継続して「分かる授業」を推進できるよう各教科で工夫に努めたい。	教職員② A 生徒 ⑪ A 保護者⑥ B 地域	24 50 7 -	71 36 65 -	6 8 20 -	0 6 7 -	94 86 73 -	
	自分の考えをまとめたり、伝え合う授業改善に取り組んでいる。(生徒:じっくり考え、進んで発言・話し合い。)	A	生徒の評価が昨年度より4%上昇し、Aまであと一歩となった。ロイロノートなどICTを取り入れて、練り合い、高め合う授業改善が定着してきた。今後も各授業の中で、様々な形態で話し合い活動を積極的に取り入れ、深い学びにつながるような授業改善を図りたい。	教職員③ A 生徒 ② B 保護者 地域	18 33 - -	76 47 - -	6 19 - -	0 2 - -	94 79 - -	
	道徳の時間を要に「心を耕し鍛える」道徳教育を推進している。(自分の思い・考えを深めている。)	A	教員の意欲的な授業研究の下、各学級で充実した道徳の授業が進められ、生徒の満足度は高い。今後も自分の思いを伝え合い、道徳的実践力を高める授業改善を目指して校内研修を充実させ、教師の授業力を向上させる研修を進めたい。	教職員④ A 生徒 ⑤ A 保護者 地域	24 65 - -	59 28 - -	18 5 - -	0 2 - -	82 93 - -	
	授業に真剣に取り組む、学力向上を目指して努力している。 目標値・肯定率80%(教⑤・生①)	A	全体的には肯定率が高い評価結果である。地域ボランティアに入っていた個別最適学びも定着してきた。3や4と回答している生徒が依然としており、今後も生徒に基礎・基本を確実に定着させる指導に取り組むたい。	教職員⑤ A 生徒 ① A 保護者 地域	24 44 - -	76 47 - -	0 7 - -	0 2 - -	100 91 - -	
	家庭での学習習慣が身に付く指導をしている。(身につけている。)	B	全体として改善が望まれる。テスト期間中には家庭学習の記録を付け、放課後に個別指導を実施して、家庭学習の充実の一助としてきた。今後も家庭学習の効果的な取り組み方を継続して指導し、家庭における学習習慣を一層身に付けさせていきたい。	教職員⑥ B 生徒 ⑦ B 保護者① C 地域	12 35 15 -	59 33 33 -	29 24 40 -	0 8 12 -	71 69 48 -	
	生徒会活動・学校行事・部活動等で充実した活動を展開している。(充実している。)	A	小中合同運動会や文化祭などの諸行事を通して、教員も、生徒も充実感を感じることができた。保護者も生徒の成長の様子を間近で観ることができ、喜びを感じている。今後も、見直しを行いながら、南伊予の伝統を効果的に発展させるよう教育活動を充実させる。	教職員⑦ A 生徒 ④ A 保護者④ A 地域	35 62 29 -	65 30 66 -	0 5 4 -	0 3 1 -	100 92 94 -	
	伊予中「私たちの信条」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。)	A	校長のリーダーシップの下、伊予中「私たちの信条」を基本とした教育活動を実施できた。今後も一層の充実を図りたい。	教職員⑧ A 生徒 ⑥ A 保護者 地域	24 40 - -	65 44 - -	12 12 - -	0 4 - -	88 84 - -	
学校関係者評価委員の所見	ロイロノートやエイリスなど、ICTを活用しながら基礎的・基本的事項の定着や主体的・対話的で深い学び、そして学力向上に繋がる取組に努めている。家庭学習の充実について、家庭と連携を図りながら、適切な生活習慣の確立に引き続き取り組んでほしい。		学校の対応		今年度も、小中合同運動会や文化祭などの諸行事を通して、生徒は充実感を味わうことができ、地域の担い手として成長した。保護者・地域からも好評であった。学習にも学力向上を目指して真剣に取り組む様子が伺える。今後も南伊予の伝統を大切にしながら、生徒の成長を効果的に促すことができるよう見直しを行いつつ、教育活動の充実を図りたい。					
人権・同和教育	一人ひとりを大切に、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。 目標値・肯定率80%(教⑨・生⑮・保⑧)	A	全校体制での取組により、教職員・生徒の評価が高く、相互の信頼関係を築くことができたが、保護者の評価は依然としてBである。今後も家庭との連携を一層密にして、誰一人取り残さない学校作りを目指す。	教職員⑨ A 生徒 ⑮ A 保護者⑧ B 地域	35 52 16 -	59 38 56 -	6 6 22 -	0 3 6 -	94 90 72 -	
	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。)	A	全校体制での取組に良い評価を得た。今年度は、研修体制を充実させ教職員が深い学びをし、授業に反映させた。人権委員会も活動を推進し、実践力を高めた。今後も生徒の主体的な行動に基づく支持的風土のあるより良い集団作りを目指す。	教職員⑩ A 生徒 ⑧ A 保護者⑨ A 地域 ① A	18 63 17 73	82 31 70 20	0 3 11 0	0 3 3 2	100 94 86 94	
学校関係者評価委員の所見	地区別懇談会に教職員が参加し、講師を務める等したことは、地域との連携を深める意味で重要である。人権集会を通じて良い言葉掛けについて考え、その後も実践に繋がったことは、支持的風土の確立に大いに役立っている。今後も一人ひとりを大切にする教育を実践してもらいたい。		学校の対応		今年度は、人権・同和教育について教職員の研修体制を充実させ、深い理解と考察の下、授業実践を重ねることができた。また、地区別懇談会に参加し、地域との連携を深めた。人権委員会でも実践的な深い学びができた。今後も教職員の研修を推進するとともに、生徒の変化を見逃さず、保護者と連携し、安心して学校生活ができるように努める。					

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1,2の計)
					1	2	3	4	
生徒指導	いじめ、不登校に対して誠実な態度で未然防止、早期発見、早期対応に努めている。 目標値・肯定率80%(教⑪・生⑬・保⑩)	A	アンケートや観察等により、学級担任や学年部、養護教諭が連携して未然防止や早期発見・早期対応に取り組んだ。スクールソーシャルワーカー等にも効果的に関わっていただいている。保護者との連携を深め、高い緊張感を持って当たる。不登校生徒について、保護者と連携し、心のケアや学力保障、登校に向けた取組を充実させる。	教職員⑪ A	24	76	0	0	100
	様々な機会を通じて生徒と関わり、生徒理解に努めている。 目標値・肯定率80%(教⑫・生⑭・保⑪)	A	毎日の日記指導や日頃の観察や言葉掛けなどにより、生徒理解を深め、様々な原因で登校に不安を抱えている生徒が安心して学校生活を送ることができるように努めてきた。今後も保護者やスクールカウンセラー等との連携を図り、個別の生徒指導を充実させる。	生徒⑬ A 保護者⑩ A 地域	57 20	31 61	7 7	5 13	88 80
	生徒も教師も気持ちのよいあいさつができる。 目標値・肯定率80%(教⑬・生⑯・保⑤・地②)	A	教師自らが挨拶を励行し、生徒の自発的な挨拶を喚起して、充実を図ってきた。地域の評価も更に上昇し、挨拶の活性化に向けた毎日の地道な取組が功を奏してきている。今後も挨拶を生徒理解・生徒指導の基礎・基本として取り組んでいきたい。	教職員⑫ A 生徒⑭ A 保護者⑪ B 地域	24 56 15	76 31 65	0 9 10	0 3 11	100 87 79
	朝食をとる、身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(身に付いている。) 目標値・肯定率80%(教⑭・生⑨・保②)	A	基本的な生活習慣の定着のため、全教職員が保護者と連携して、生徒の自発的な取組となるよう努力してきた。学校保健委員会での話し合いを基に、好ましい生活習慣が定着するよう、今後もあらゆる場面で通じて保護者と連携し、継続して指導していきたい。	教職員⑬ A 生徒⑯ A 保護者⑤ B 地域② A	35 47 26	65 40 53	0 10 16	0 3 5	100 87 78
学校関係者評価委員の所見	地域で生徒から気持ちの良い挨拶があり、うれしく思う。コロナ禍で途絶えていた地域との繋がりが深まりを見せ、伊予中生の良さが再び表れてきた。アンケートや観察、声掛けを充実させ、早期発見と対応に努めている。今後いじめ・不登校の未然防止や生徒の心のケアに努めてもらいたい。	学校の対応	今年度は、1学期の人権集会での話し合いを基に、「いよの日」を毎月設定して、生徒が学校でも家庭でも互い温かな言葉掛けをする取組をしてきた。年々明るく爽やかな挨拶ができるようになってきている。地域からも「生徒の方が先に挨拶をしてくれる」との言葉をいただいている。今後も学校の支持的風土の確立のため、気持ちの良い挨拶を励行していく。						
安全管理	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努める体制ができている。(生徒:安全な登下校) 目標値・肯定率80%(教⑮・生⑩・保⑫・地③)	A	「児童生徒をまもり育てる協議会」等を通して、関係機関や地域からの情報を基に、自転車の乗り方等、登下校の交通安全について継続的な指導をすることができた。	教職員⑮ A 生徒⑩ A 保護者⑫ A 地域③ A	35 82 24	59 16 68	6 2 4	0 1 4	94 98 92
	避難訓練等を計画的に実施し、非常時に対応できる体制をとっている。 目標値・肯定率80%(教⑯・生⑰・保⑬)	A	様々な想定の下での避難訓練訓練を実施した。生徒・教職員がともに真剣に訓練に取り組むことにより、高い意識を持つことができた。また、今夏には登下校時に地震発災時の行動について保護者と確認することができた。今後も、命を守る行動について指導の充実を図る。	教職員⑯ A 生徒⑰ A 保護者⑬ A 地域	71 62 31	29 30 59	0 5 8	0 2 1	100 92 91
	校内安全点検を定期的に行い、潜在危険の除去に努めている。 目標値・肯定率100%(教⑰)	A	破損箇所についての情報が逐次集まり、市教育委員会の協力の下、早期発見・修繕により、生徒が安全に学校生活を送れる環境を整えることができた。今後も校内点検を継続し、安全な施設環境を保つよう取組を推進する。	教職員⑰ A 生徒 保護者 地域	53	47	0	0	100
学校関係者評価委員の所見	盆踊りが30年振りに復活し、生徒が企画に参加し盛り上げ、学校西に美しいコスモス畑を作る等、地域の方々に喜んでいただけた。生徒の南伊予への郷土愛を育てる取組ができた。「児童生徒をまもり育てる協議会」において、交通安全等について関係機関と協議できたことは効果的であった。	学校の対応	保護者や地域、関係機関の協力による登下校時に危険となる箇所についての情報を元に、生徒が安全に通学ができるよう細やかな指導をしている。引き続き年度初めの交通安全教室や平素の安全指導、登下校指導に努め、交通ルールやマナーの遵守や、状況に応じて主体的な行動をすることができるよう指導を充実させる。						
特別支援教育	学習が遅れがちな生徒や配慮を要する生徒への適切な指導ができている。(個別指導や学習相談等) 目標値・肯定率80%(教⑱・生⑲・保⑦)	A	地域の方による学習支援ボランティアの継続した協力により、生徒の個別最適な学びを目指し、基礎・基本の定着を図ってきた。保護者の評価が依然としてBである。保護者と連携を深め、今後も継続して学習指導の充実を図っていく。	教職員⑱ A 生徒⑲ A 保護者⑦ B 地域	18 52 14	76 33 56	6 12 19	0 3 11	94 85 70
	特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ協力体制を整えている。 目標値・肯定率80%(教⑲)	A	支援が必要な生徒について、今年度も定期的に職員会等(ケース会議)を開催し、全教職員で共通理解を図り、関係機関と緊密に連携しながら、一貫した支援を行ってきた。今後も生徒が安心して学校生活ができるよう、支援を充実させていく。	教職員⑲ A 生徒 保護者 地域	35	65	0	0	100
学校関係者評価委員の所見	地域ボランティアの活動も定着してきた。テスト期間中の個別指導もなされ、学力向上の取組がなされている。また、特別支援教育について、校長を中心に連携しながら充実した取組になるよう努めている。今後も誰一人取り残さない教育の実践をお願いしたい。	学校の対応	今年度も継続して地域ボランティアの協力を得たり、教職員が個別に学習相談を実施したりするなど、誰一人取り残さない個別最適な学びの実現を目指してきた。また、関係機関との連携を密にして生徒に寄り添った生徒指導に取り組んできた。引き続き教職員、保護者や関係機関と協力しながら、適切な支援や指導ができるよう取り組んでいきたい。						

項目	質問内容及び目標値	総合	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)	
					1	2	3	4		
研修	研修計画に沿って授業研究に取り組み授業力の向上に努めている。 目標値: 肯定率80%(教⑳)	A	全教職員での授業研究や人権・同和教育研修等、研修を計画どおりに進めるだけでなく、深化させることができた。ICTの活用など、積極的な授業改善も定着した。今後も「分かる授業」を展開するため、各教科の指導方法の改善や、教職員の研修を計画的に実施したい。	教職員⑳	A	18	76	6	0	94
	健全な社会人として信頼されるよう努めている。 目標値: 肯定率80%(教㉑)	A	今後も教育公務員としてのサービスの徹底や綱紀の厳正を推進し、心身ともに健全であるような業務改善に努め、生徒や保護者、地域から信頼される教職員を目指す。	教職員㉑	A	47	47	6	0	94
学校関係者評価委員の所見	ICTを有効に活用して、「分かる授業」に向けた改善に取り組んでいる。人権同和教育の研修も熱心に取り組んでいる。今後も指導力の向上を目指してほしい。		学校の対応	業務改善を継続して進めることにより、教職員が生き生きと子どもたちの指導に当たることができるように努めたい。また、保護者・地域から信頼されるよう、引き続きサービスを徹底したい。						
地域連携	学校教育の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している。 目標値: 肯定率80%(教㉒・生⑱・保⑭・地④)	A	今年度も学校便りやホームページ、メールなどの機会を可能な限り活用して学校の様子を伝え、連携を深めることができた。PTAからも、広報誌を発行して学校の様子を伝えていただいている。今後も一層の充実を図りたい。	教職員⑳	A	59	35	0	6	94
	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進している。「来てもらったり、出向いたり・・・」 目標値: 肯定率80%(教㉓・生⑲・保⑮・地⑤)	A	今年度も、地域の多くの方々の協力の下、環境教育や農園作り、みかん栽培、職場体験学習、地域貢献活動等に取り組むことができた。また、盆踊りの復活に取り組み、地域行事に積極的に関わることができた。今後も一層の充実を図りたい。	生徒⑱	A	54	29	10	7	83
	学校から発信した文書類は、保護者の手元に確実に届いている。 目標値: 肯定率80%(生③・保③)	B	文書類を渡せていないと感じる生徒がおり、手元に届きにくいと感じている保護者もいる。ラインズメールを活用したり、校内放送等で生徒への徹底を図ったりしてきた。今後も確実に学校からの情報が速やかに伝わるよう基本的な生活習慣と関連させ、継続して指導する。	保護者⑭	B	31	49	11	9	80
	学校、PTA、地域はリサイクル運動等様々な行事を通して、よく協力して活動している。 目標値: 肯定率80%(教㉔・生⑳・保⑯・地⑥)	A	リサイクル運動や教育後援会の寄付金では、今年度もPTAの尽力の下、地域の方の協力を得て実施することができた。PTAによる運動会や文化祭でのバザーも定着してきた。今後も役員の負担軽減を図りながら、効果的で充実した活動となるよう努める。	地域④	A	63	29	2	0	92
学校関係者評価委員の所見	学校からの文書類について、保護者へのメール連絡や生徒への注意喚起がなされ、保護者に確実に連絡が届くように努めていた。諸行事の効果について検討・改善をしながら、今後も学校と家庭の連携を深めてほしい。		学校の対応	今年度も学校便り等で学校の様子を伝えた。リサイクル運動等で地域から協力を得ることができた。公民館や地域のお陰で、生徒の成長を確かめることができた。今後もホームページの一層の充実を図り、保護者や地域との連携を大切にして教育活動を進めたい。						
施設	施設・設備や教材・教具が充実していて、活用している。 目標値: 肯定率80%(教㉖・生㉑)	A	限られた予算の中ではあるが、必要性の高い教材・教具から順次購入していくようにしたい。	教職員㉒	C	24	29	41	6	53
	歴史のある学校のため、施設に傷んだ箇所も目立つようになってきている。予算的に厳しいとは思いますが、今後も市教育委員会と連携しながらより良い教育環境作りに取り組んでほしい。		学校の対応	現有の施設・備品を感謝の気持ちを持って丁寧に使用していくようにしたい。破損箇所の修繕や備品の更新は市教育委員会と相談しながら進めており、今後も可能な限り速やかに対応したい。	生徒㉑	A	45	37	12	6
学校関係者評価委員の所見				保護者		-	-	-	-	
				地域		-	-	-	-	